

一年を振り返って



▲登別温泉小学校閉校記念式典(3月11日)



▲登別明日中等教育学校開校式・入校式(4月9日)



▲のぼりべつ文化交流館『カント・レラ』オープン(6月1日)



▲議会フォーラム(7月6日・9日・11日)



▲平成19年度登別市大雨災害実働訓練(10月2日)



▲登別市連合町内会が総務大臣表彰を受賞(11月20日)

2007年春、わたしは、中学生になった。それとともに、いろいろなことに対してだらしくなったと思う。小学生のころは当たり前になっていたことだって、中学生になるとできていないことがたくさんあることに気付いた。学校が終わり、家に帰ってすぐにするのは携帯電話。着替える前に携帯電話をいじって、母



明日からは
山川真里奈さん
(登別明日中等教育学校1年生)

井下房子さん(登別東町)
平成20年で74歳になる。家業をしながら70歳まで温泉でパートをし、ボランティア活動もしてがむしゃら

自分では自分で遊んでやる

に怒られる。何度も怒られてやっと着替える。少し考えてみた。怒っている母はどんな気持ちなんだろう。決断していい思いはしていないだろう。怒っている母も気分が悪くなるということだ。
成長するにつれ、母に迷惑を掛けないようにと思う気持ちが薄れてきているんだ。そんなんじゃないかと思つた。これからは母に迷惑を掛けないようにしたい。お金や生活していく面で迷惑は掛けるが、怒られないように頑張っていきたいと思つた。

に生きてきた感がある。
今は、世の中に尽くすというより自分のために毎日を過ごす。老人クラブ、日赤奉仕団、婦人会に所属していて、そこではわたしの役割もあり、みんなとわいわい楽しくやっている。天気の良い日は海までの散歩、家ではワープロに触り、ミシン掛けにいそむ。



たくさんのご投稿、ありがとうございました。
※掲載させていただいた『お手紙』は順不同です。

残り時間の少なくなってきた独りの生活だから自分を楽しませてやらないといけない。
遅まきながら先日携帯電話を持つた。電話をかけるというより、機能をピコピコしていることが楽しい。メールも覚えよう。一つ何かを覚えると次の段階に上りやすい。一度に2段は上れないから。
珍しくタンゴの曲を聴いていると、わたしの心は青春よみがえった。「そうだ、ダンスを習いにいこう」
しばらく閉じていた扉が開いた。
猪突猛進大好き人間、平成20年も楽しい日々になりそうだ。